

自分の身を守るために、積極的な参加をお願いします

# 9月1日(日) 富士市総合防災訓練を実施します



6月の山形県沖を震源とする地震や、7月に九州で発生した豪雨など、ことしも各地で自然災害が発生しています。

こうした災害は決して人ごとではありません。

9月1日(日)には、南海トラフ地震が突然発生したことを想定し、市内全域を対象に防災訓練を行います。皆さん一人一人が災害発生時の状況をイメージし、防災対策を進めるきっかけにしましょう！

問い合わせ／防災危機管理課 ☎55-2715 ☎51-2040 📧bousai@div.city.fuji.shizuoka.jp

## タイムスケジュール

※防災訓練の同報無線は、災害時と同じ流れで放送します。

### 緊急地震速報の同報無線放送

「訓練、地震です。訓練、地震です。強い揺れに警戒してください(繰り返し)」。

### 地震発生

### 地震発生時の同報無線放送

「訓練、地震発生(繰り返し)。(サイレン)」

### 大津波警報を発表、津波避難対象区域に避難指示(緊急)の発令を同報無線放送

「サイレン」訓練、大津波警報が発表されました。海岸付近の方や津波避難対象区域の方は、高台に避難せよ(繰り返し)。

9月1日(日)

8:29

8:30

8:33

## 取り組みポイント

□あらかじめ備えていた手段で緊急地震速報を確認する

□実際に机の下など危険を避けられる場所で、頭や身を守る行動をとる

※ガスメーターは、強い揺れを感じると自動的にガスの供給を遮断します。無理をしてガスコンロの火をとめに行く必要はありません。

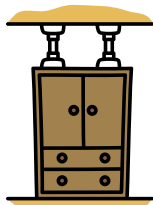
震源が富士市に近い場合、緊急地震速報が間に合わないこともあります。次の取り組みを通して、地震に備えましょう。

□転倒しそうな家具や家電がないか確認する  
※ふだんから身を守る行動がとれないほどの強い揺れをイメージし、家の中を再点検するほか、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅に住んでいる人は、無料の耐震診断を受ける(耐震補強について詳しくは6ページ参照)。

□津波避難対象区域や急傾斜地(崖地)の近くに住んでいる人は、避難目標地点に避難する  
□停電した想定で通電火災に備え、ブレーカーを落とす

□家族の安否確認を行う

※防災週間(8月30日～9月5日)中は、「災害伝言ダイヤル(☎171)」や、インターネットを利用して被災地の人の安否確認を行う「災害用伝言板(web171)」の体験利用ができます。  
□近所の人と声をかけ合う



災害用伝言板 (web171)



## 安否確認の方法を再確認しましょう！

さまざまな自主防災活動の中で、最初に取り組むべきことが、住民の「安否確認」です。防災訓練の際に次のポイントに注意しながら、安否確認の方法を確認しましょう。

### 1 「無事な人」が無事を報告します

安否確認の目的は、けが人などの「対応が必要な人」を明らかにすることです。「無事な人」の報告が集まることで、対応が必要ない人が判明します。\*



### 2 みずから報告に行きます

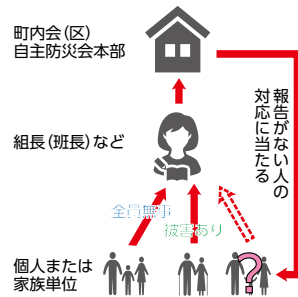
報告は町内の役員などに聞かれるまで待つのではなく、みずから行きます。これにより、町内全体の情報が迅速に集約でき、応急対策に早く着手できます。報告先を確認しましょう。

### 3 事前の準備として安否確認シートを作成しましょう

報告先には、家族構成とその安否や住宅の被害状況などの報告をします。ここでは、多くの情報が集まるため、平時時に世帯構成をまとめた名簿(安否確認シート)を作成しておくことで、災害時に迅速な確認ができます。

安否確認の方法について詳しくは、市ウェブサイトをごらんください。

「市ウェブサイト」くらしと市政↓防災・安全安心↓防災↓自主防災活動↓大規模災害発生時の住民の安否確認について



## 震度情報を同報無線放送

「訓練広報。ただ今の地震は震度6強でした。火の元を確認し、火災の発生に注意してください。また、今後の情報に注意してください。こちらは広報ふじです。」

## 各自主防災会で防災訓練を実施

9月1日以外に実施する町内会(区)もあります。

8:33以降 ←

- (組)単位で安否確認を行い、町内会(区)の集会所や本部に連絡する
- 自主防災活動(防災訓練)に参加する  
(訓練の内容は町内会(区)により異なります)



▲安否確認訓練の結果を地図にまとめ、町内の被害状況を把握



▲初期消火活動の訓練

## 用語説明

### ★1 緊急地震速報

地震発生直後に、各地の強い揺れの到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせるための情報です。テレビ、スマートフォン、ラジオなどでお知らせします。

市では、震度5弱以上の緊急地震速報を受信した場合、同報無線(屋外スピーカーや富士市防災ラジオ)で自動的に放送します。



▲富士市防災ラジオ

### ★2 津波避難対象区域

鈴川本町、鈴川町3・4・5、依田橋、前田、前田新田、鮫島、田子、小須、中丸浜、中丸丘、江川の各町内会(区)の一部です。あらかじめ各自で避難目標地点を決めておきましょう。

### ★3 通電火災

災害に伴う停電が復旧するときに、漏電などにより起こる火災のことです。

市内では発災直後に89%が停電すると想定されています。

通電火災を防ぐため、ブレーカーの位置や落とし方を確認しておき、停電したらブレーカーを落としましょう。また、地震の揺れを感知し、自動的にブレーカーを落とす防災グッズなどもあります。